

平成14年度

帯広市文化賞

文化奨励賞

帯広市教育委員会

# 帯広市文化賞受賞者



いな がき じん 子  
稲 垣 仁 子  
(宗 仁)  
(83歳)

## 《受賞理由》

氏は、茶道一筋に研鑽を積むとともに、茶道愛好者の指導育成に情熱を注ぎ、茶道界の発展に尽くしてこられました。また、山田宗徧を流祖とする茶道宗徧流の帯広分区が設立された昭和39年に本部理事帯広分区長に就任、昭和50年には宗徧流帯広支部長に就任するなど、豊かな人間性から常に指導的立場にあり、多くの有為な人材を育成し続け、茶道文化の向上発展に大きく寄与されてきています。

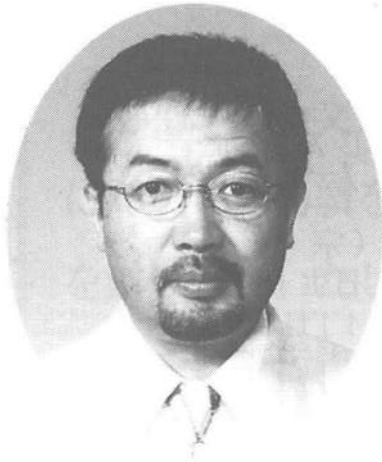
さらに、帯広農業高等学校や帯広南商業高等学校において、生徒の指導にあたり、伝統ある茶道文化の普及と後進の育成に尽力されるとともに、老人ホーム信楽苑への慰問を行うなど、茶道を通じて広く地域文化の普及向上に尽くしておられます。

このような氏の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与するものであることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものであります。

## 《略 歴》

- 大正8年 足寄町に生まれる
- 昭和39年 茶道宗徧流本部理事帯広分区長
- 昭和47年 帯広農業高等学校において技芸講師を務める（平成7年まで）
- 昭和50年 茶道宗徧流帯広支部長
- 昭和51年 帯広市婦人センターにおいて女性短期大学講師を務める（平成5年まで）
- 昭和52年～老人ホーム信楽苑への慰問を行う
- 昭和59年～帯広南商業高等学校において茶道部の指導にあたる
- 平成11年～茶道宗徧流帯広支部名誉支部長

# 帯広市文化奨励賞受賞者



や え がし けい いち  
八 重 柏 恵 一  
(冬 雷)  
(47歳)

## 《受賞理由》

氏は、常に意欲的な創作活動を続け、平成12年に毎日書道展会員、平成14年には北海道教職員美術展の招待作家となるなど、氏の追及する芸術性、独創性溢れる書は斯界より高い評価を受けております。さらに、北海道書写書道教育連盟研究副部長、帯広市民劇場運営委員、おびひろ市民芸術祭展示部会長などの職を歴任し、書道文化の普及発展のために尽力されております。

また、個展を精力的に開く一方、陶芸家、画家、版画家、写真家との合同展やジャズとの競演を行うなど、伝統を大切にしながらも、新たな領域を開拓し続けております。

このような氏の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に寄与するとともに、今後の活動も大きく期待できるものであるため、帯広市文化奨励賞を贈り顕彰するものであります。

## 《略 歴》

- 昭和29年 幕別町に生まれる
- 昭和52年 新潟大学教育学部書道科卒業
- 昭和52年 釧路工業高等学校に着任
- 昭和53年 北海道書道展特選受賞(昭和54年にも受賞)
- 昭和57年 帯広南商業高等学校に着任現在に至る
- 昭和59年 毎日書道展秀作賞受賞(昭和63年、平成6・10・11年にも受賞)
- 平成5年 奎星展無鑑査会員特別賞受賞
- 平成12年 毎日書道展会員
- 平成12年 十勝文化会議十勝文化奨励賞受賞
- 平成14年 北海道教職員美術展特選受賞

# 帯広市文化奨励賞受賞者



## と ち ち ち ち ち ち 十 勝 華 道 連 盟

昭和37年3月設立(40年)

### 《受賞理由》

十勝華道連盟は、昭和37年に十勝の華道八流派によって設立され、今年で40周年を迎えております。

連盟発足時より開催している「十勝華道合流展」は、昭和52年に「いけ花展」、昭和61年からは「春のいけ花展」「秋のいけ花展」として開催し、多くの市民に華道の素晴らしさを広めてられました。

現在は池坊帯広支部・日本華道院十勝支部・小原流十勝支部・華道未生会帯広支部・草月会北海道支部十勝会・東池坊帯広支部・専正池坊十勝支部・嵯峨御流帯広司所の八流派が加盟し、流派を超えて研鑽を深めるとともに、華道文化の普及発展に尽力しております。

このような会の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に寄与するとともに、今後の活動も大きく期待できるものであるため、帯広市文化奨励賞を贈り顕彰するものであります。

### 《略 歴》

昭和37年 十勝華道連盟設立

昭和37年～十勝華道合流展（昭和52年に「いけ花展」、昭和61年からは「春のいけ花展」「秋のいけ花展」に改称）

昭和37年～帯広市民文化祭に参加（昭和57年よりおびひろ市民芸術祭に改称）

昭和56年～帯広菊まつりに参加

昭和62年 帯広市民劇場賞受賞